



浦井猛之さん

(72歳・狭山)

ボッチャは、老若男女が一緒に笑顔で楽しめます。みんなの喜びの表情を見られるのはレフリーの特権です。

結婚して住まいにマンションを選んだこともあり、ご近所さんや地域とのかかわりがこれまでなかった浦井猛之さん。奥さんや家族との別れが立て続けにあり、ある日をきっかけに気持ちが変わったと言います。

「妻の3回忌のことです。夢に妻が出てきました。なぜだかわからないですが、次の日、これまでかかわってこなかった老人会に参加してみようと思ったんです。あのままの自分でしたらずっとくずぶつしていたと思います」

参加した老人会では、女性と男性が分かれていて、女性に比べて男性がにこにこしていないと感じていたそうです。そんなときだれもが楽しめるボッチャと出会うことに。

「地区福祉委員会の副委員長と一緒にファインプラザ大阪に行かせてもらったんです。その日から月に1回、小学生から60歳くらいまでの障がいのある人がボッチャの練習をするサポートをしています。ボッチャは、重度の脳性麻痺などの障がい者のために考案されたパラリンピックの正式種目で、障がいの有無にかかわらず、老若男女が楽しめるスポーツです。緊張感のある場面で思ったとおりに手が動く人が向いています。私はボッチャを楽しむだけではなく、ボッチャを広めることができる審判員に魅力を感じ、日本ボッチャ協会公認審判員の資格を取りました」

男女問わず笑顔で楽しめるという地区でボッチャを提案。今では、狭山西・東老人クラブでボッチャを楽しむながら審判の仕方も伝えています。

「審判員の魅力は、ボールを投げた人のうまくいったときの笑顔を見られることです。みんな、ボールを見えていますから、喜びの表情を見られるのはレフリーの特権です。もちろんジャッジは公正ですよ笑。老人クラブでは女性を中心となっていますが、もっと男性にも参加してもらってにこにこしてほしいですね」

笑うと免疫力が上がると語る浦井さん。今日もジャックボール(目標球)を見つめるみんなの笑顔を見守っています。

シルバー人材センター 会員募集

市内に住んでいて、働く意欲がある60歳以上の健康な人であれば、だれでも登録できます。主な仕事の内容は、植木のせん定、草引き、植木の水やり、屋内外清掃、事業所手伝い、家事手伝い、包装・こん包、ちらし配布、あて名書き、施設管理、一般事務などです。

問い合わせ シルバー人材センター ☎366-2277



「風呂の日」を再開します

とき 26日(月)午前11時～午後4時(午後3時30分まで受け付け) ところ さやま荘 ※風呂の日以外は入浴料100円が必要です
問い合わせ さやま荘 ☎366-2022



熟年大学大学祭

3年間の休止期間を経て、熟年大学大学祭が復活します。

とき 17日(土)午前9時45分～午後3時45分 ところ SAYA KAホール・コンベンションホールほか 内容 体操各科の実技、和太鼓演奏、さやま音頭保存会による踊り、絵画・園芸品展示、歴史各科のクイズ(賞品あり)、日本史料・園芸科講師の講演
問い合わせ 熟年いきいき事業実行委員会事務局 ☎366-8899